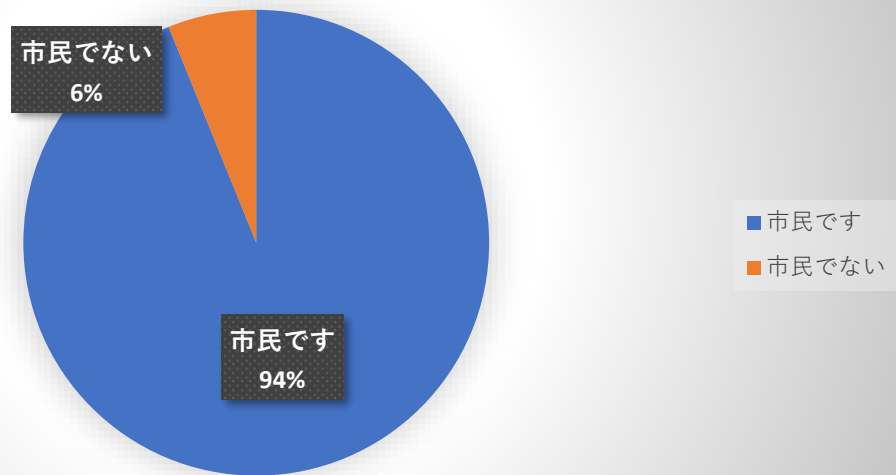


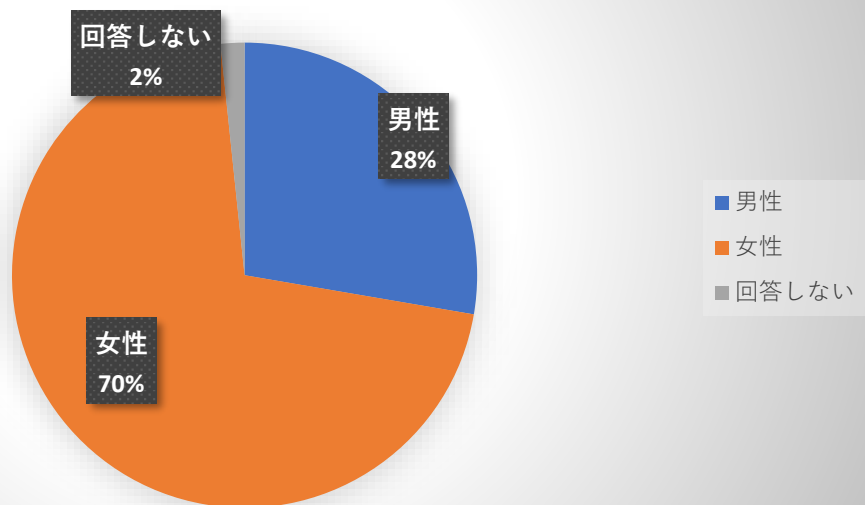
芸術文化に関するアンケート(令和5年6月3日～7月1日) 集計結果

皆さんの芸術や文化に対するお考えをお聞きするためのアンケートを実施しました。期間中に603名の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。以下に集計データをグラフ化しましたのでご参照ください。

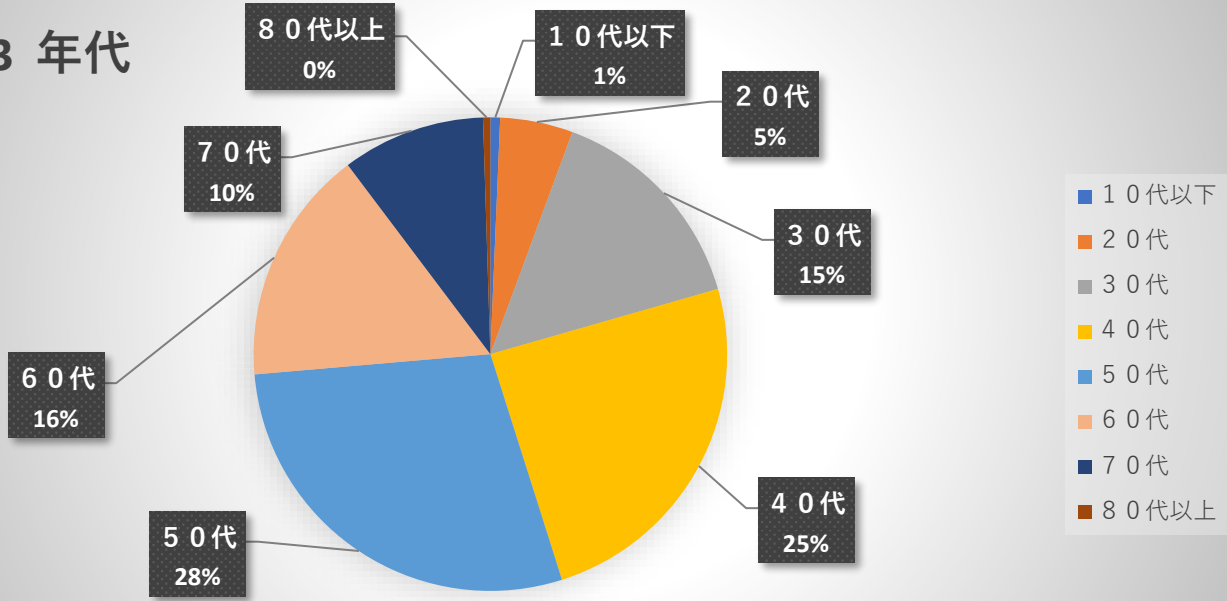
Q1 あなたは市民ですか



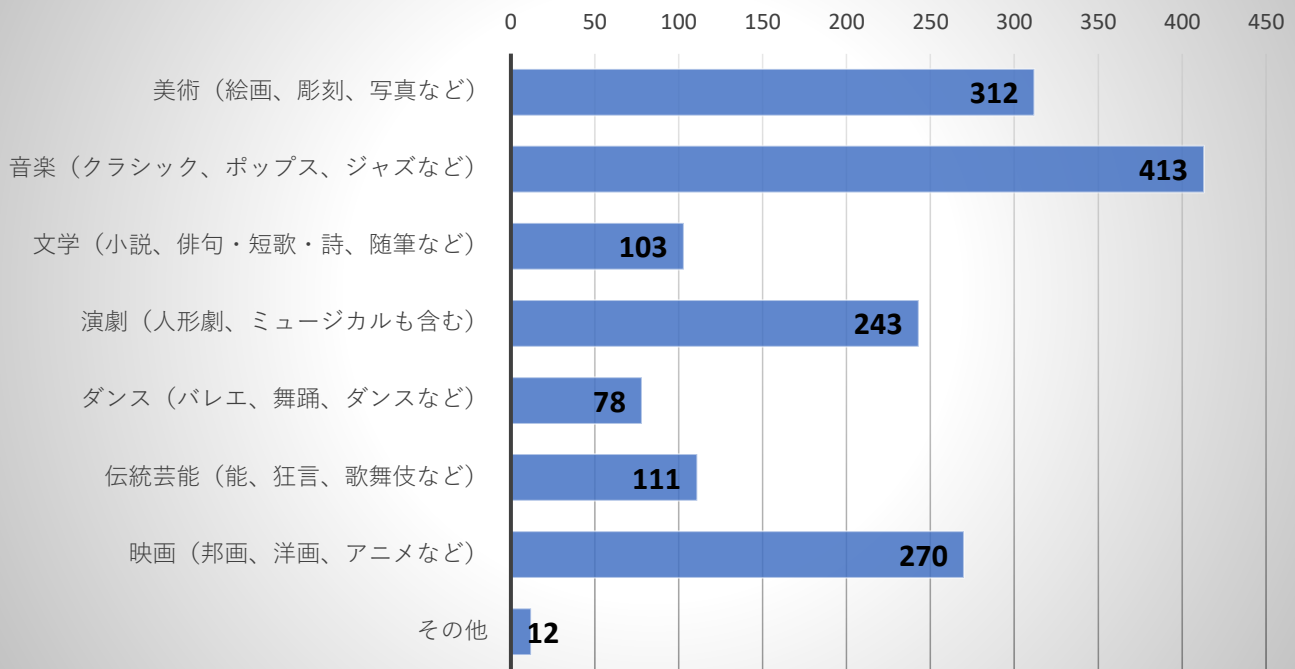
Q2 性別



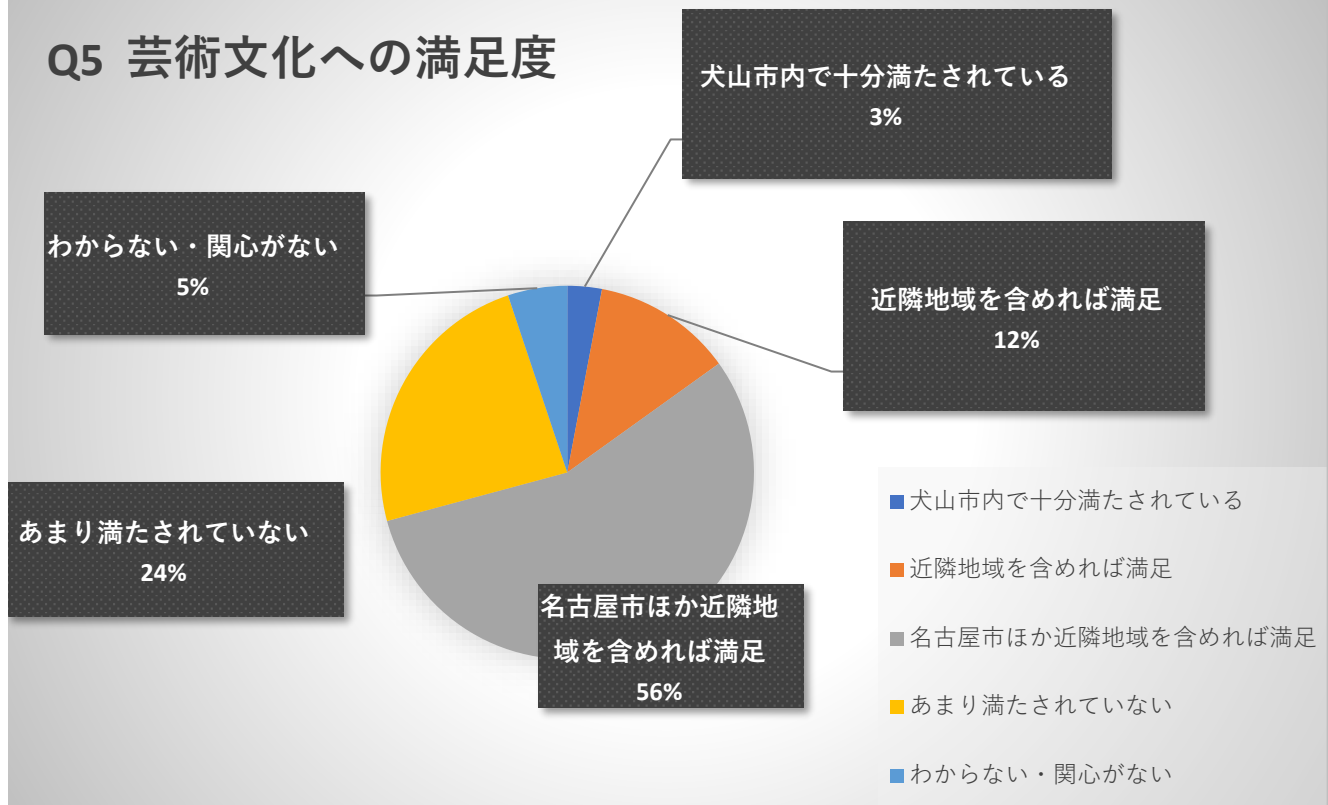
Q3 年代



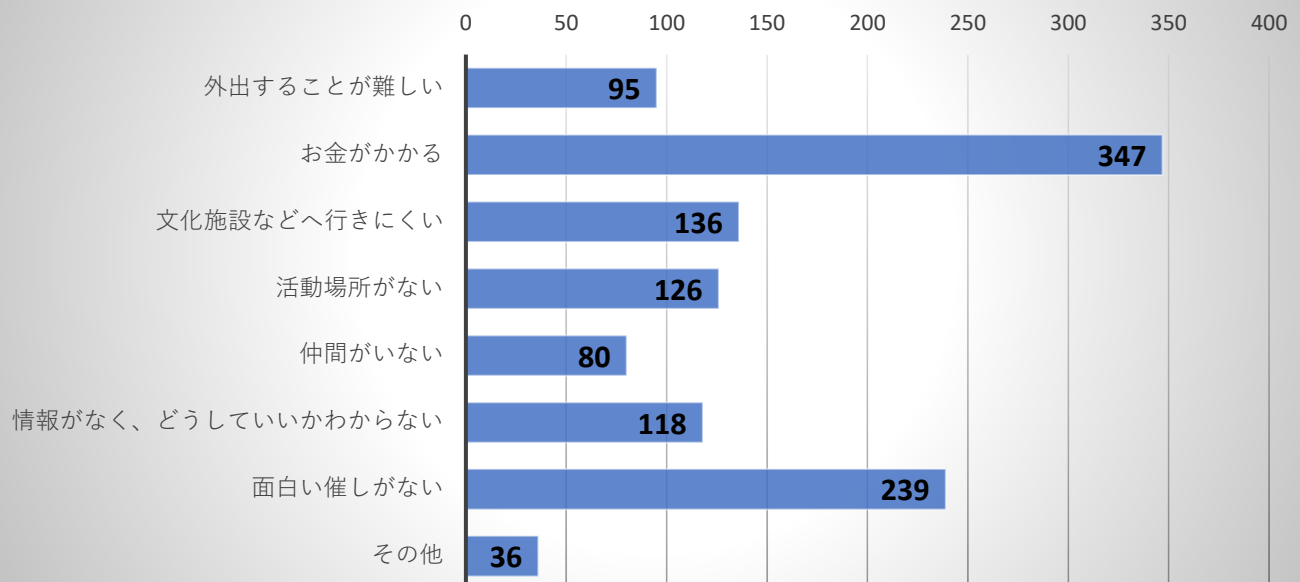
Q4 芸術文化で関心のある分野 (3つまで選択可)



Q5 芸術文化への満足度

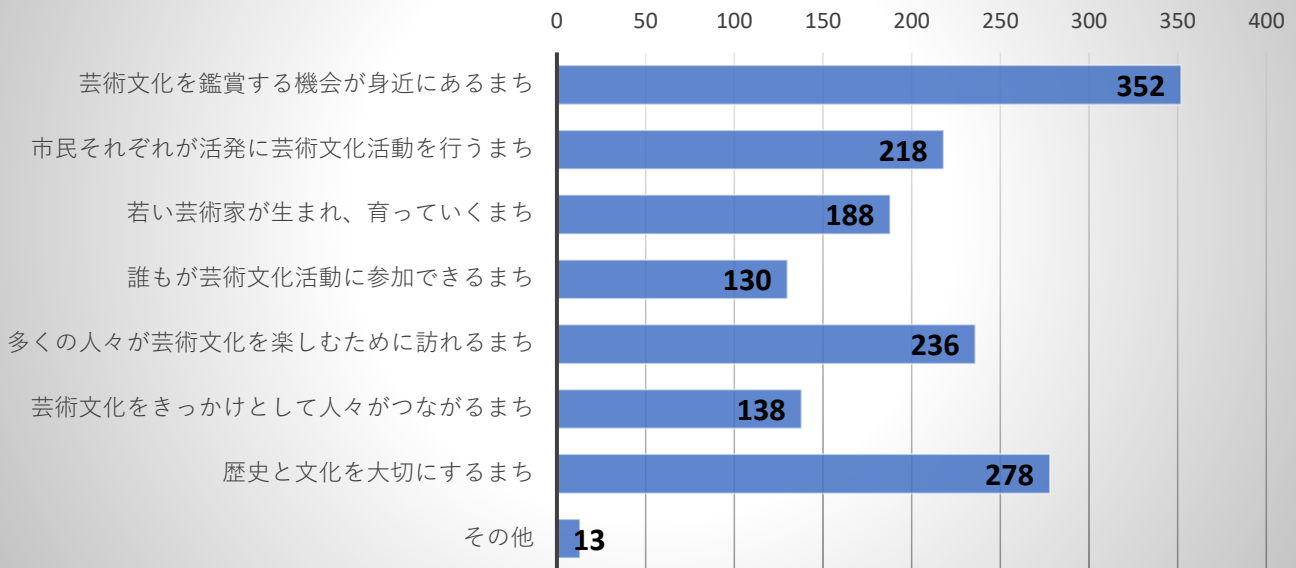


Q6 芸術文化に関する困りごと (3つまで選択可)

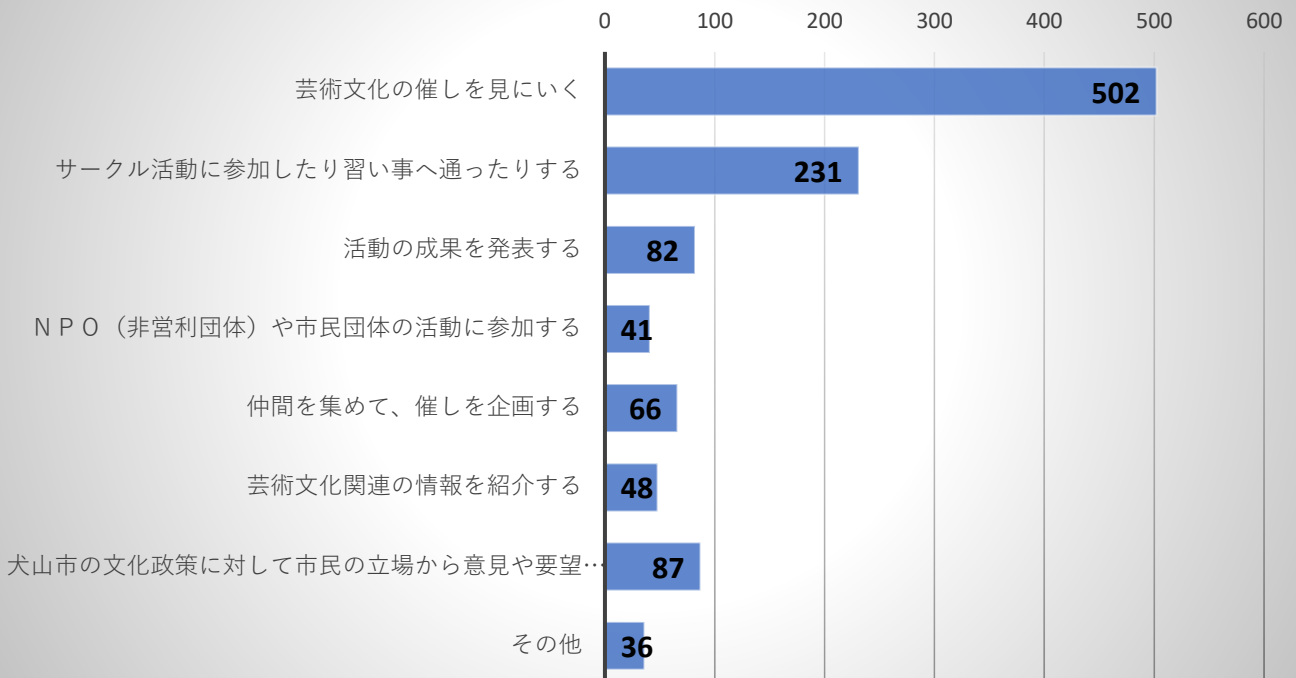


Q7 教養を深め、文化の香り高いまちの将来像

(3つまで選択可)

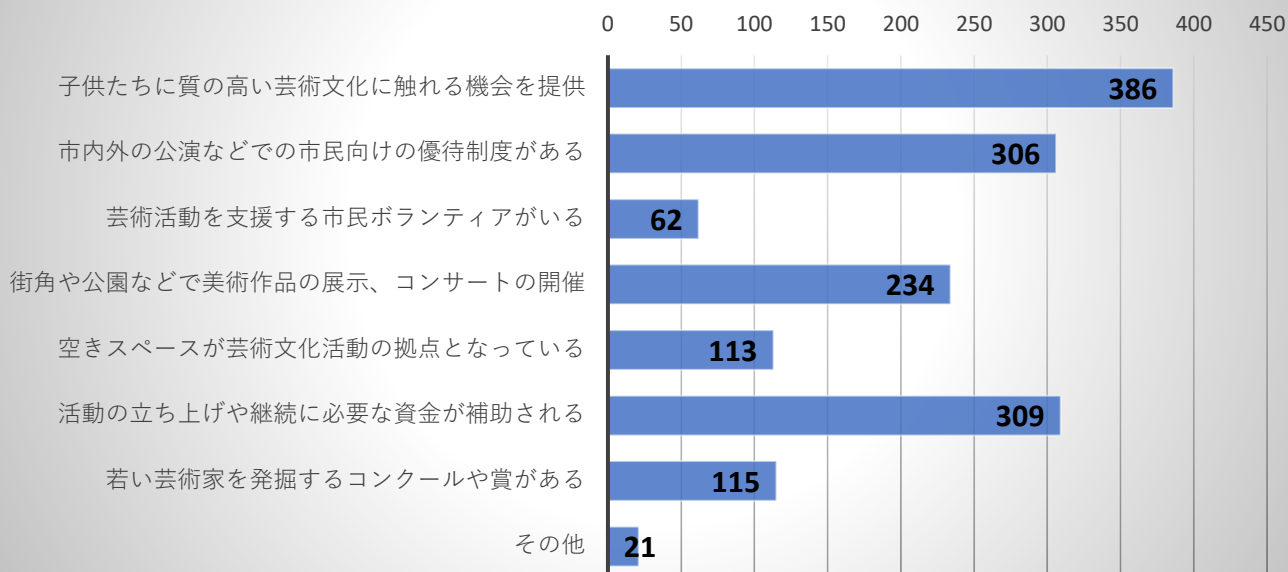


Q8 芸術文化活動へのかかわり方 (3つまで選択可)



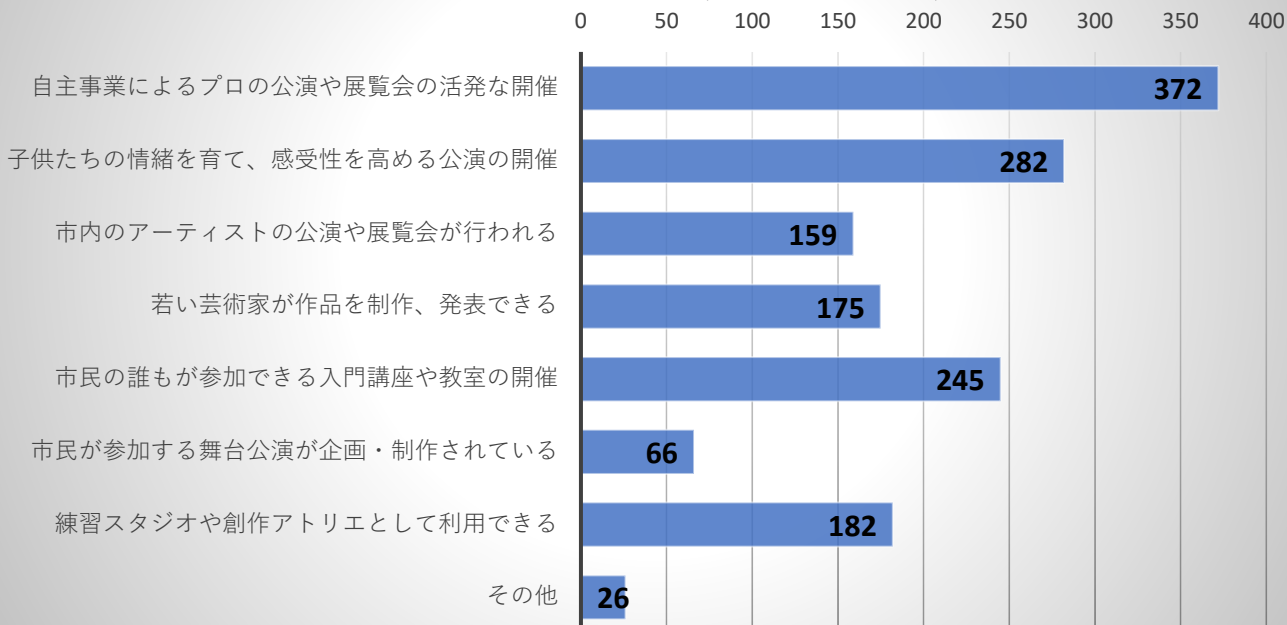
Q9 活発な芸術文化活動への参加で重要なこと

(3つまで選択可)



Q10 市民文化会館・南部公民館の活用方法

(3つまで選択可)



<集計結果の概要>

- ①回答者の**94%が犬山市民**でした。
- ②回答者の**70%が女性**でした。（男性は28%）
- ③年代では50代が28%、40代が25%、60代が16%、30代が15%の順に多く、30代から60代まで、**84%**を占めました。
- ④芸術文化で関心のある分野については、「**音楽**」を**68%の人が選択**、「**美術**」を52%の人が選択、「**映画**」を45%の人が選択しました。
- ⑤地域での芸術文化の満足度については、**56%**の人が「名古屋市や近隣地域を含めれば満足」と回答し、**24%**の人が「満足していない」と回答しました。なお、「**市内で十分満たされている**」と回答した人は**3%**でした。
- ⑥芸術文化への関心を満たすための困りごととしては、「**お金がかかる**」を**58%の人が選択**、次に「**面白い催しがない**」を**40%**の人が選択しました。
- ⑦「教養を深め、文化の薫り高いまちの将来像」のイメージとしては、「**芸術文化を鑑賞する機会が身近にあるまち**」が**最も多く58%の人が選択**しました。次に46%の人が「歴史と文化を大切にすまち」を選択しました。
- ⑧芸術文化活動へのかかわり方としては、**83%の人が「催しを見に行く」を選択**しており、次にかなり差がありますが**38%**の人が「サークル活動への参加や習い事に通う」を選択しました。
- ⑨活発な芸術活動への参加で大切なことについては、「**子供たちに質の高い芸術文化に触れる機会を提供**」が**最も多く64%の人が選択**しました。また、「市内外の公演などでの市民向けの優待制度がある」「活動の立ち上げや継続に必要な資金が補助される」といった行政の支援を**51%**の人が選択しました。
- ⑩最後に市民文化会館・南部公民館の活用方法については、「**自主事業によるプロの公演や展覧会の活発な開催**」が**最も多く62%の人が選択**しました。続いて47%の人が選択した「子供たちの情緒を育て、感受性を高める公演の開催」、**41%**の人が選択した「市民の誰もが参加できる入門講座や教室の開催」という順になりました。